

令和3年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B (ステップアップ)	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	詳説 日本史 改訂版 (山川出版社)						
副教材等	図説 日本史通覧 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「点」と「点」をつなぎ「線」で歴史を捉える。
- ・歴史的事象を丸暗記するのではなく、「なぜその事象が起きたのか」を考える。
- ・今の日本がどのようにして形成されたのかを、世界との関わりと合わせて理解する。

2 学習の到達目標

- ・我が国の古代からの歴史を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付ける。
- ・現代の諸課題に着目して考察することにより、歴史的思考力を培う。
- ・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	古代、および中世の日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	古代、および中世の日本の諸課題を歴史的観点から考察し、日本社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	古代、および中世の日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	古代および中世の日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業態度観察 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート
	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	原始	日本文化のあけぼの 律令国家の形成	○	○	○	○	a:ヤマト政権、律令国家が形成される過程を多角的な観点から理解しようとしている。 b:歴史的事象について、経済、文化、国際情勢などと関連付けて、多角的、実証的に考察し、公正、実証的に表現している。 c:ヤマト政権や飛鳥の朝廷と中国との関係に関する資料や律令などの国内法令の資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取り図表などの作成を行っている。 d:ヤマト政権の性格や次第に整備されつつある律令国家の特徴を理解している。	授業態度観察 ワークシート 定期考査 レポート
2 学期	古代・中世	貴族政治と国風文化 中世社会の成立	○ ○		○ ○	○ ○	a:平安王朝、鎌倉幕府が成立する過程を多角的な観点から理解しようとしている b:歴史的事象について、経済、文化、国際情勢・国際関係等と関連付けて、多角的、実証的に考察し、公正、実証的に表現している c:貴族・皇族から武士の時代への変化する時代を理解するために必要な諸資料・史料を収集し、有用な情報を選択して、読み取り図表などにまとめたりしている d:平安王朝期、鎌倉時代の特徴を理解している	授業態度観察 ワークシート 定期考査 レポート

3 学 期	中 世	武家社会の成長	○	○	○	○	<p>a:鎌倉幕府が崩壊し、室町幕府が成立する過程を多角的な観点から理解しようとしている。</p> <p>b:歴史的事象について、経済、文化、国際情勢等と関連付けて、多角的、実証的に考察し、公正、実証的に表現している。</p> <p>c:武士の時代として作成された必要な諸資料を収集し、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:鎌倉時代後半、室町時代の特徴を理解している</p>	授業態度観察 ワークシート 定期考査 レポート
-------------	--------	---------	---	---	---	---	---	----------------------------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。